

# 労働者へ しわよせするな

竜山荘の指定管理者案 問題アリ

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。



TPP

## 慎重な対応を 国に提言していく



### 県労連の要請に吉村知事が答える

吉村美栄子知事は9日、日本のTPP交渉参加によって、県内農業、地域経済に重大な影響が及ぶとの懸念を表明、「慎重に対応するよう国にしっかり提言していく」と述べました。

県労連の自治体要請キャラバンに回答したものです。

<上> 吉村知事(左端)への要請に同席するゆり子県議  
<下> 知事要請に続き県幹部と意見を交わす県労連の人たちとゆり子県議(左から2人目)

「知事が提案で述べているように、あまりに性急だ。県としては、今後情報収集や関係団体の声を聞きながら対応していきたい」と答えました。

「知事が提案で述べているように、あまりに性急だ。県としては、今後情報収集や関係団体の声を聞きながら対応していきたい」と答えました。

議案として、蔵王温泉にある県・国民宿舎「竜山荘」の指定管理者の指定(期間:2012年4月〜2015年3月)が提案されました。

「指定の経緯を質したのに対して、小野真哉・観光交流課長は、「竜山荘は宿泊料などによって運営費をまかなっているが、利用客が減少し赤字が続いている」

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。

### 雇用状況しつかりチエックを

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。

「今回の指定では、利用拡大や安定的な運営などの点で審査を経て、新たな団体を候補者として選定した」と述べました。



2011年12月25日  
-16号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
県議会共産党執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅:山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## TPP交渉参加 撤回を求めよ

野田首相がTPP交渉参加表明をしました。が、県の商工関係分野での影響について質しました。

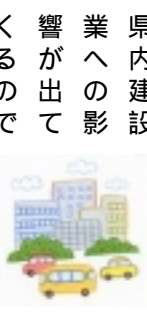
私は、「農業分野については影響が大きいとされているが、食品加工や製造業での影響については、県内の受け止めはどうか」と質問。

石澤義久・産業政策課長は、「安い海外の農産物が入ってくるのではないかと心配の声を聞きました。」と答えました。

### 地域経済への影響は甚大

私が、「政府調達分野で、公共事業に外国企業が参入してくれば、

私は、「TPP交渉に参加するにはアメリカの議会承認を必要があり、最低でも90日かかる」と答えています。



# より副作用の少ないポリオワクチンで

# 接種率向上を

子どもを持つお母さんたちの要望を県に届ける

少子・高齢化対策特別委員会(13日)では、より副作用の少ないポリオワクチン接種導入、看護師確保の課題についてとりあげました。



私は、「全国的にポリオの生ワクチンに対する副作用を心配して接種率が下がっている」と報道されているが、山形県はどうか」と質問しました。

朝倉政弘・保険薬務課薬務主幹は、「今年4・6月では昨年比、全国で17・5%、山形県は12・7%減少している」と答えました。

私は、「先進国では生ワクチンではなく、より副作用が少ない不活性化ワクチン接種となっており、子どもを持つお母さん達の要望も強い」。また、ワクチンで防げる病気はワクチン接種が進むよう国へのはたらきかけを強めて

ほしい」と求めました。朝倉主幹は、「不活性化ワクチンも完全ではない。ワクチンの未接種を防ぐことが大切。国はポリオの不活性化ワクチンを混合した4種混合ワクチンを来年末ころ導入する見通し」と答えました。

## 看護師確保は急務

## 実効性あるものに

県は昨年、「第7次の看護職員需給見通し(2011年から5年間)」を策定し、現在、看護師確保のためのサポートプログラムを進めようとしています。

私は、「第6次の看護職員需給見通しにおいて、実際は需要と供給がさらに離れて看護師不足が深刻になる結果となった。第7次ではどう進めていくのか」

## 避難者入居の雇用促進住宅へ給湯器設置を急いで

高橋寿米沢市議とともに16日、県に対し、震災・原発事故からの避難者が入居している雇用促進住宅に給湯器を急ぎ設置するよう要望しました。

要望書は、避難者が冬期間の生活必需品を確保できるように、特に子どものいる世帯へ県として配慮・支援することなど4項目を求め



県に要望する(左から)ゆり子県議、高橋米沢市議

るもので、対応した飯



いないが、はたしてこれで解決できるのか。庄内の民間病院からは、地域医療を担っていけないとの声があがっている。看護師養成の定数を増やすことも検討すべきだ」と主張しました。

船田課長は、「まずは看護師確保のためサポートプログラムによる県内定着率を高めるなどの施策をやっていきたい」と答えました。

## 看護師養成数を増やすべき

私は、「看護師の養成所の入学定員は増えて

野正博・危機管理課長に手渡しました。

高橋市議は、避難者の多くは長期間の「二重生活」のため経済的に苦しい状況で、給湯器設置を我慢せざるを得ず、「子どもからお年寄りまで『冷たくて仕方ない。なんとかしてほしい』の声が寄せられている。避難者が生活に必要とするものを丸ごと確保できるように調整すべき」と早期の

設置を求めました。私は、「入居している方の生活が一番だ。急ぎ求められているものであり、県としても知恵を出してほしい」と訴えました。

県当局は、「市町村が設置する場合の求償をどうするかについてクリアすれば災害救助法にもとづき対応可能だ」との見解を示し、厚労省に実情を伝え確認すると答えました。

## ゆり子の視点

2011年は、誰もが心に刻む年となりました。大震災、そして原発事故は、言葉に表せない衝撃を与えました。多くの人が、家族や友人を失った悲しみを抱え、避難生活を送らざるを得ない暮らしが続いています。

政治のあり方や自治体の役割も問われています。

「住民の生命や暮らしを守る姿勢は？」「原発事故は、なぜ引

## 2011年から2012年へ

き起こされたのか？」私たちは、これからも立ち向かっていかなければなりません。

2011年の漢字は「絆」と発表されました。救援や支援活動に直接・間接に関わった方が大勢いることは心強いことです。この「絆」を太くして、政治や社会を少しでも良い方向へ前進させていきたいと思えます。

2011年、活動への様々なご協力ありがとうございました。2012年もよろしくお願いたします。

